

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機	
	12月26日	1月30日	12月26日	1月30日	12月26日	1月30日
原子炉注水状況	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.3m ³ /h (12/26 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.3m ³ /h (1/30 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (12/26 11:00 現在)	給水系：1.3m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (1/30 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/26 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.3m ³ /h (1/30 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：17.2℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：17.1℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.0℃ (12/26 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：14.6℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：14.4℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：14.3℃ (1/30 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：22.3℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：20.0℃ (12/26 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：20.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：19.8℃ (1/30 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：22.5℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：20.7℃ (12/26 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：19.4℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：17.8℃ (1/30 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：17.4℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.0℃ (12/26 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：14.9℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：14.3℃ (1/30 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：22.9℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：22.5℃ (12/26 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：21.2℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：20.8℃ (1/30 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：22.3℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：20.2℃ (12/26 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：19.2℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：17.5℃ (1/30 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	1.31kPa g (12/26 11:00 現在)	0.61kPa g (1/30 11:00 現在)	2.99kPa g (12/26 11:00 現在)	1.87kPa g (1/30 11:00 現在)	0.34kPa g (12/26 11:00 現在)	0.34kPa g (1/30 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH)：14.21N ^m /h (JP)：14.68N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (12/26 11:00 現在)	RPV (RVH)：14.07N ^m /h (JP)：14.54N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/30 11:00 現在)	RPV：10.56N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (12/26 11:00 現在)	RPV：10.56N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/30 11:00 現在)	RPV：17.43N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (12/26 11:00 現在)	RPV：17.46N ^m /h PCV：-N ^m /h ※2 (1/30 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (12/26 11:00 現在)	A系：0.01vol% B系：0.00vol% (1/30 11:00 現在)	A系：-vol% ※4 B系：-vol% ※4 (12/26 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (1/30 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.05vol% (12/26 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.04vol% (1/30 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.60E-04Bq/cm ³ B系：1.31E-03Bq/cm ³ (12/26 11:00 現在)	A系：9.90E-04Bq/cm ³ B系：1.11E-03Bq/cm ³ (1/30 11:00 現在)	A系：- ※4 B系：- ※4 (12/26 11:00 現在)	A系：ND(1.5E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.4E-01Bq/cm ³ 以下) (1/30 11:00 現在)	A系：ND(2.3E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.3E-01Bq/cm ³ 以下) (12/26 11:00 現在)	A系：ND(2.3E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.3E-01Bq/cm ³ 以下) (1/30 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	30.9℃ (12/26 11:00 現在)	27.6℃ (1/30 11:00 現在)	33.6℃ (12/26 11:00 現在)	29.5℃ (1/30 11:00 現在)	32.0℃ (12/26 11:00 現在)	28.7℃ (1/30 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	3.80m (12/26 11:00 現在)	4.20m (1/30 11:00 現在)	3.90m (12/26 11:00 現在)	4.19m (1/30 11:00 現在)	2.82m (12/26 11:00 現在)	3.31m (1/30 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	12月26日	1月30日	12月26日	1月30日	12月26日	1月30日
使用済燃料 プール水温度	16.9℃ ※5 (12/24 11:00 現在)	13.7℃ (1/30 11:00 現在)	17.7℃ (12/26 11:00 現在)	15.8℃ (1/30 11:00 現在)	18.3℃ (12/26 11:00 現在)	19.0℃ (1/30 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	6.73m (12/26 11:00 現在)	3.20m (1/30 11:00 現在)	3.00m (12/26 11:00 現在)	2.55m (1/30 11:00 現在)	2.90m (12/26 11:00 現在)	4.50m (1/30 11:00 現在)

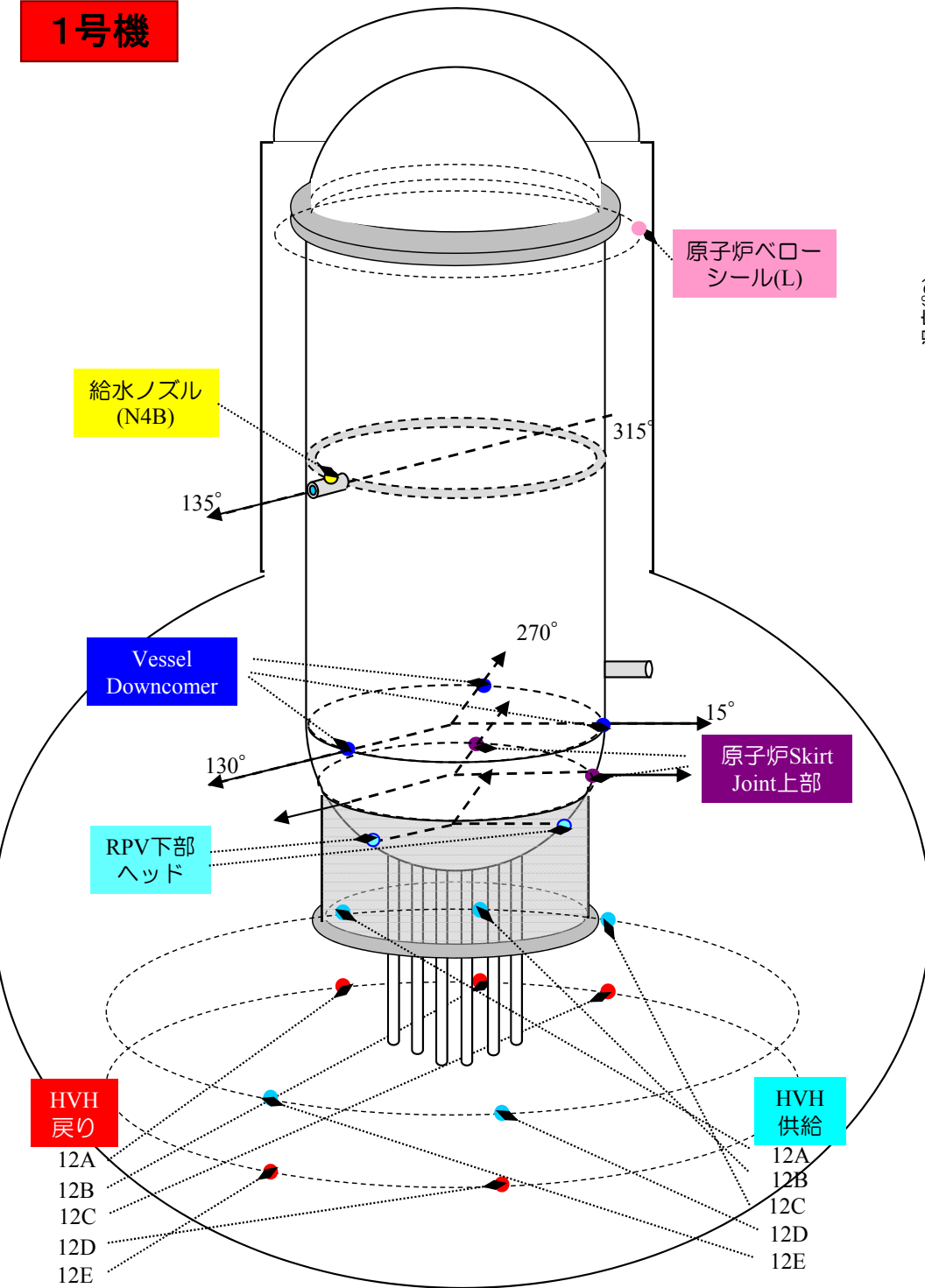
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 作業に伴いデータ欠測
 ※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中のため、4号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15℃～約25℃で推移。

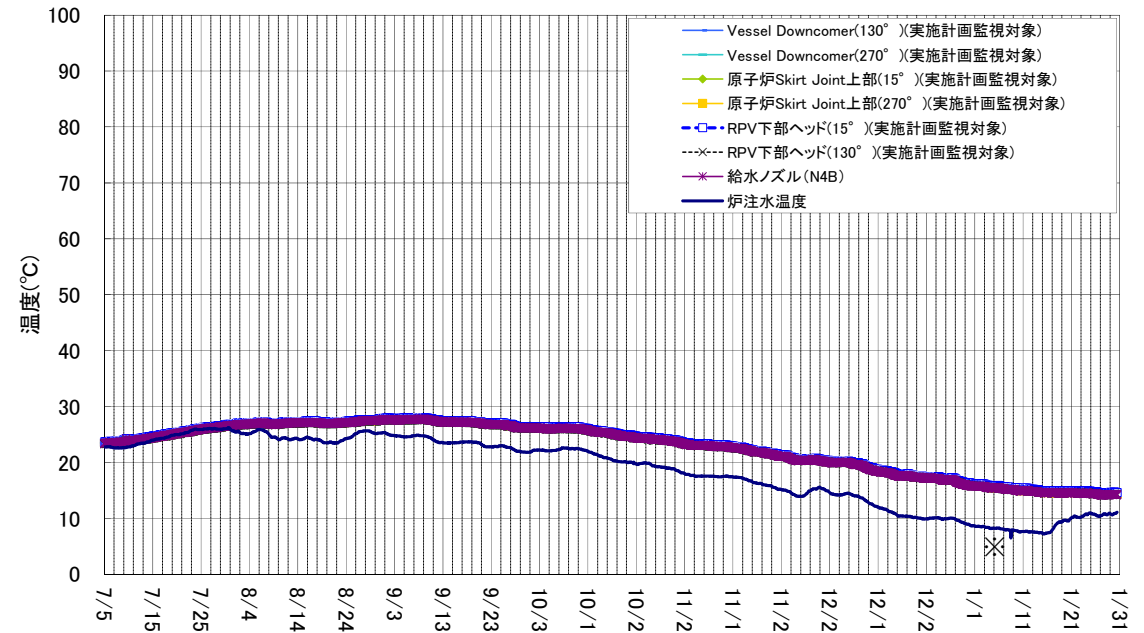
格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。

以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

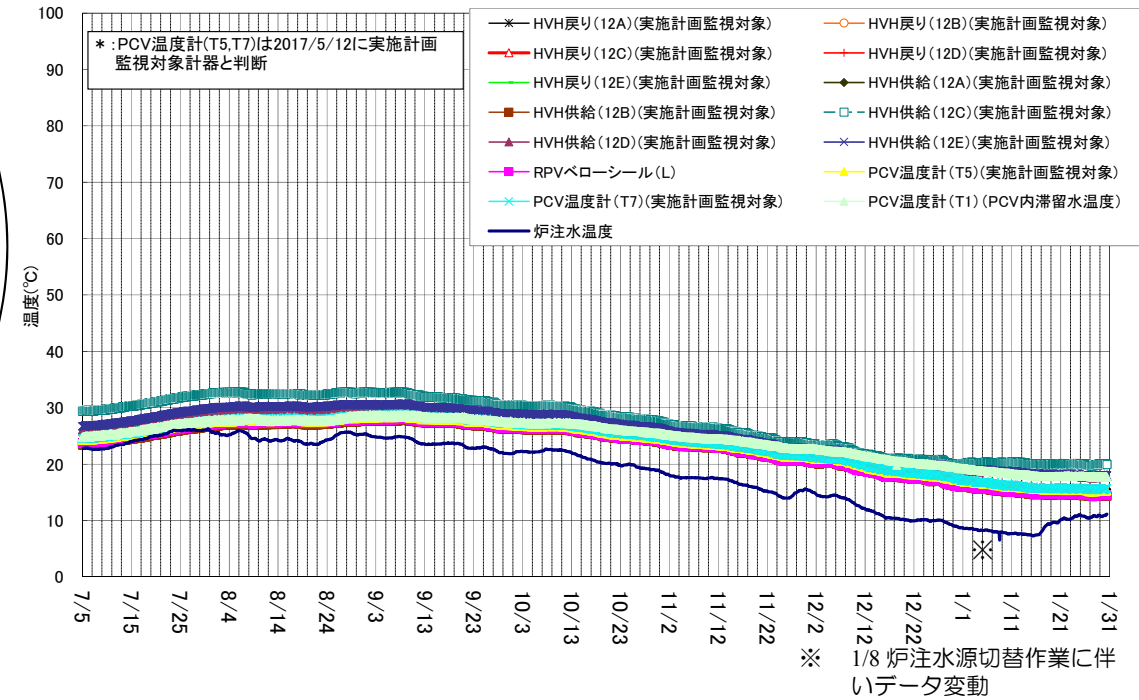
1号機



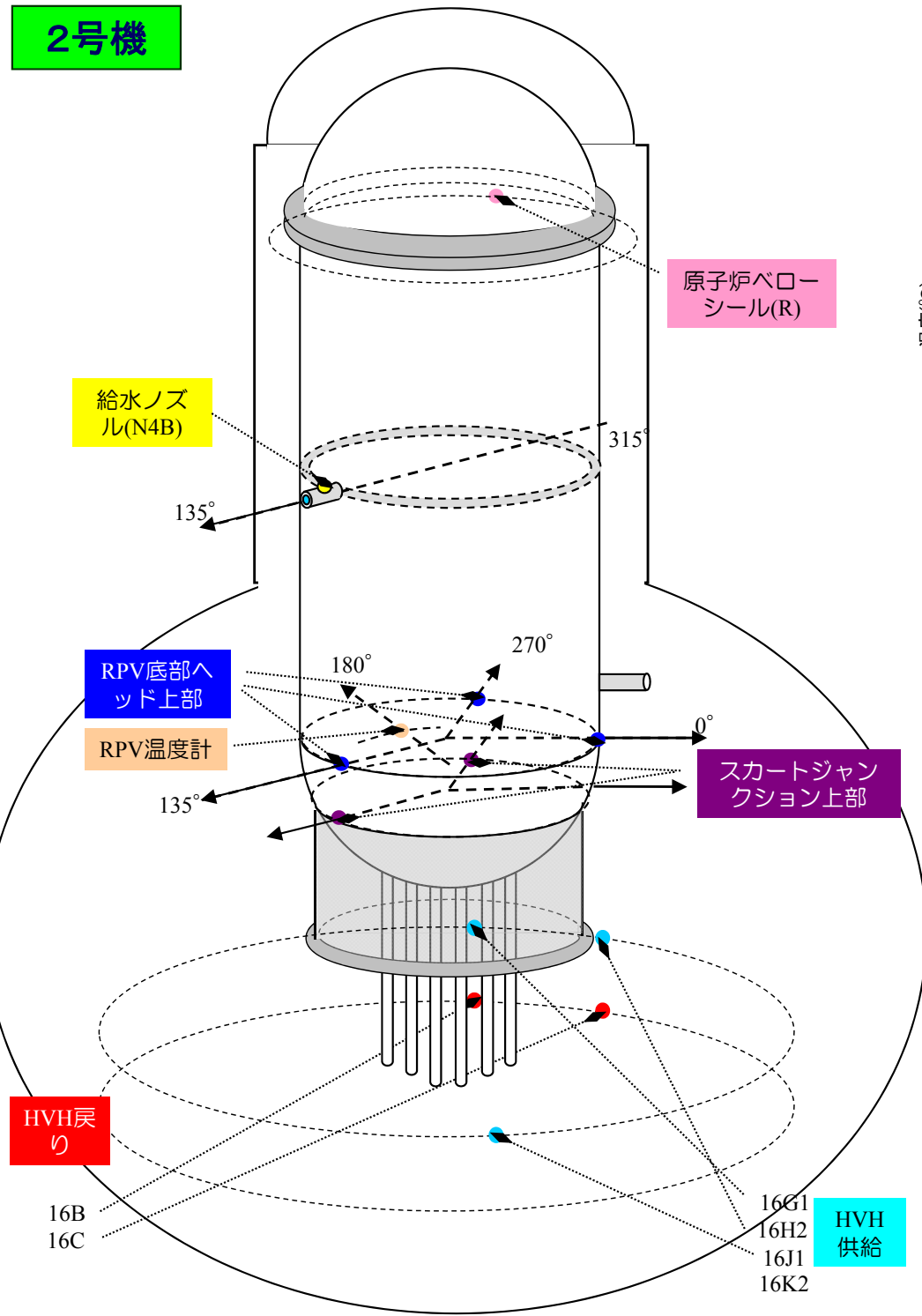
1号機 原子炉圧力容器まわり温度(7/5~1/30)



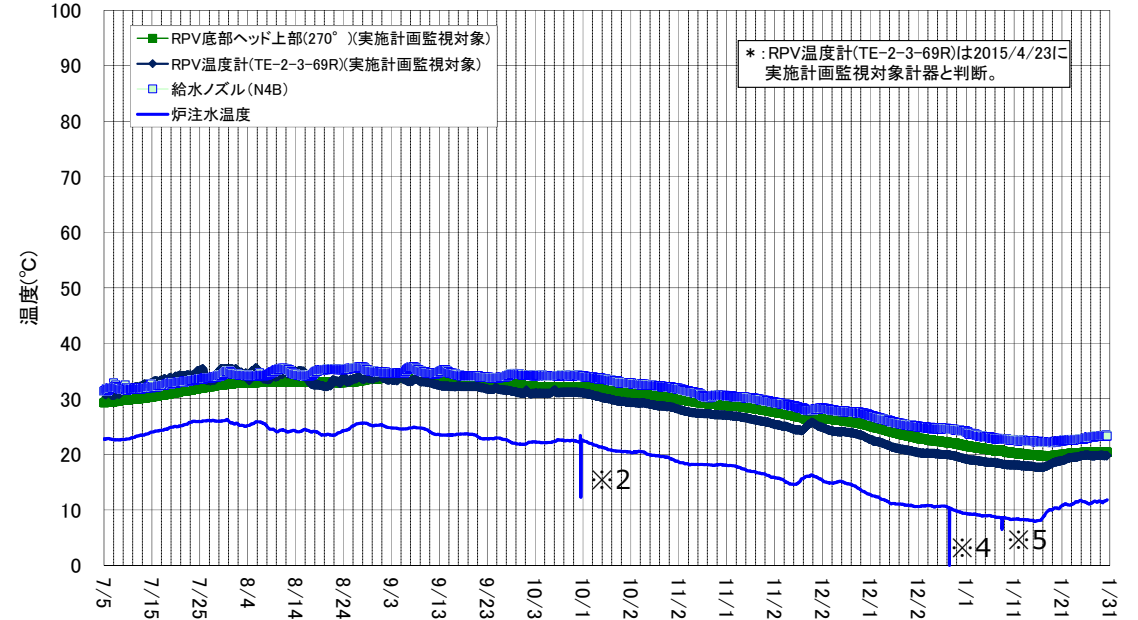
1号機 D/W雰囲気温度(7/5~1/30)



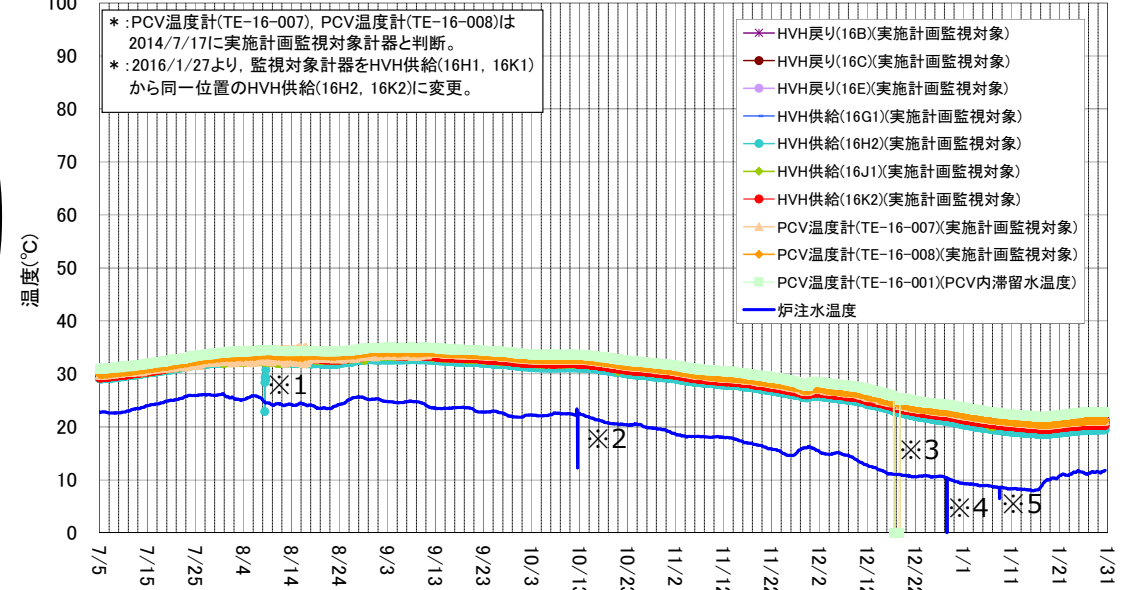
2号機



2号機 原子炉压力容器まわり温度(7/5~1/30)

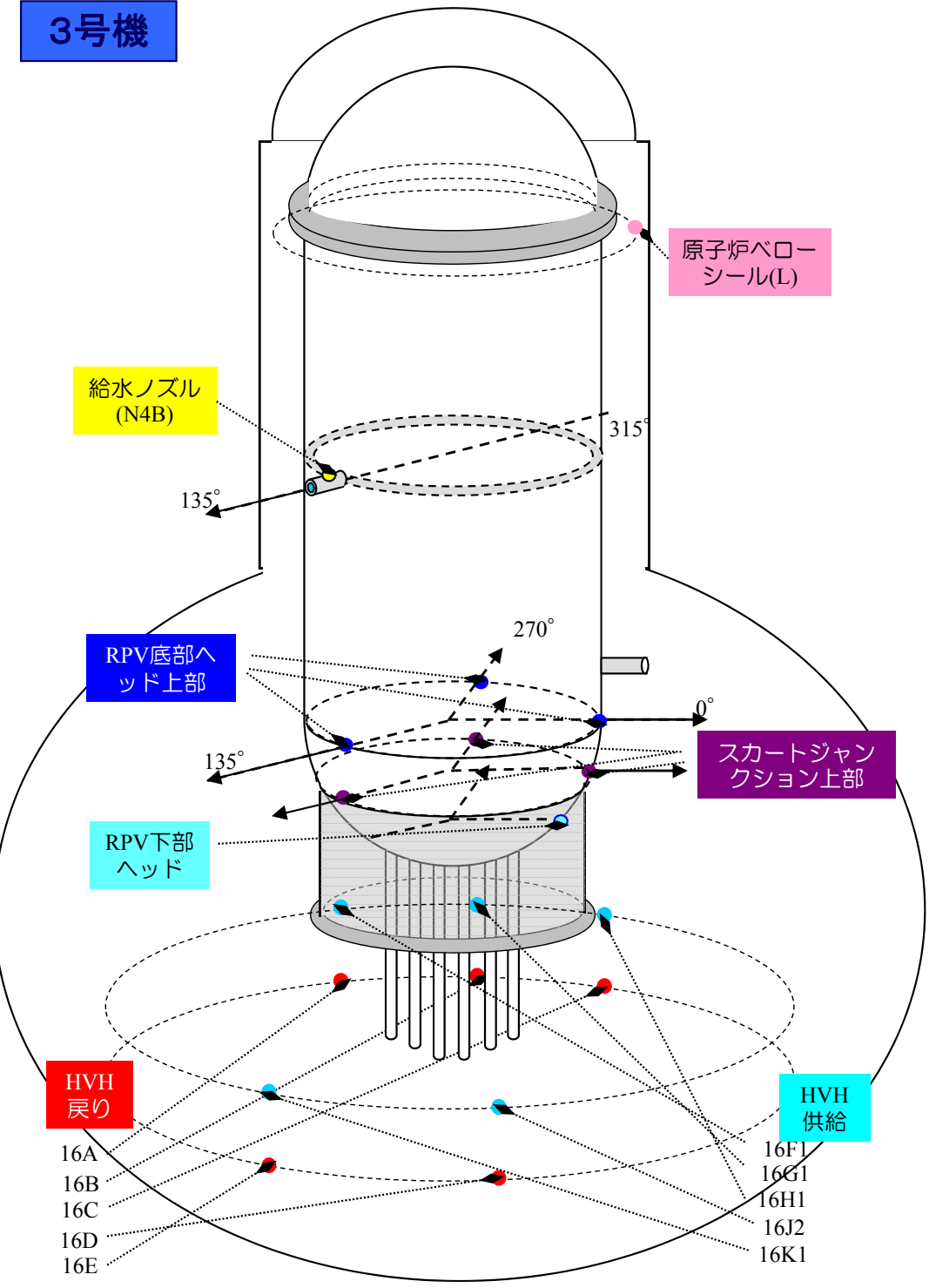


2号機 D/W雰囲気温度(7/5~1/30)

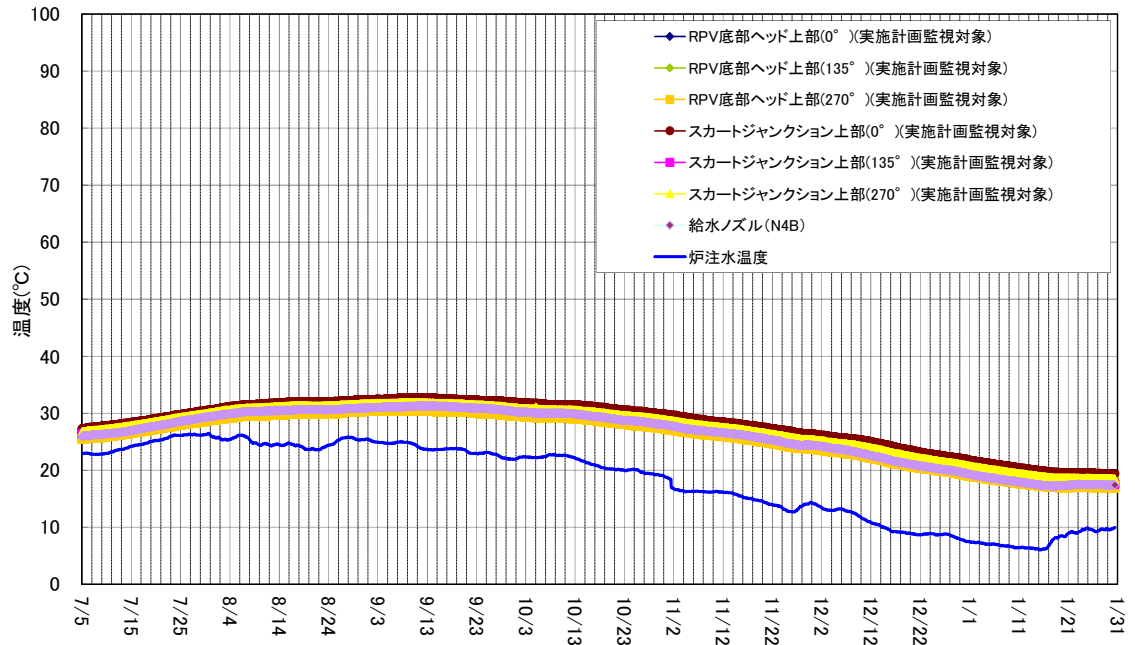


※1 8/8 作業に伴いデータ変動 ※4 12/28 作業に伴いデータ欠測
 ※2 10/12 作業に伴いデータ変動 ※5 1/8 炉注水源切替作業に伴いデータ変動
 ※3 12/17~18 作業に伴いデータ欠測

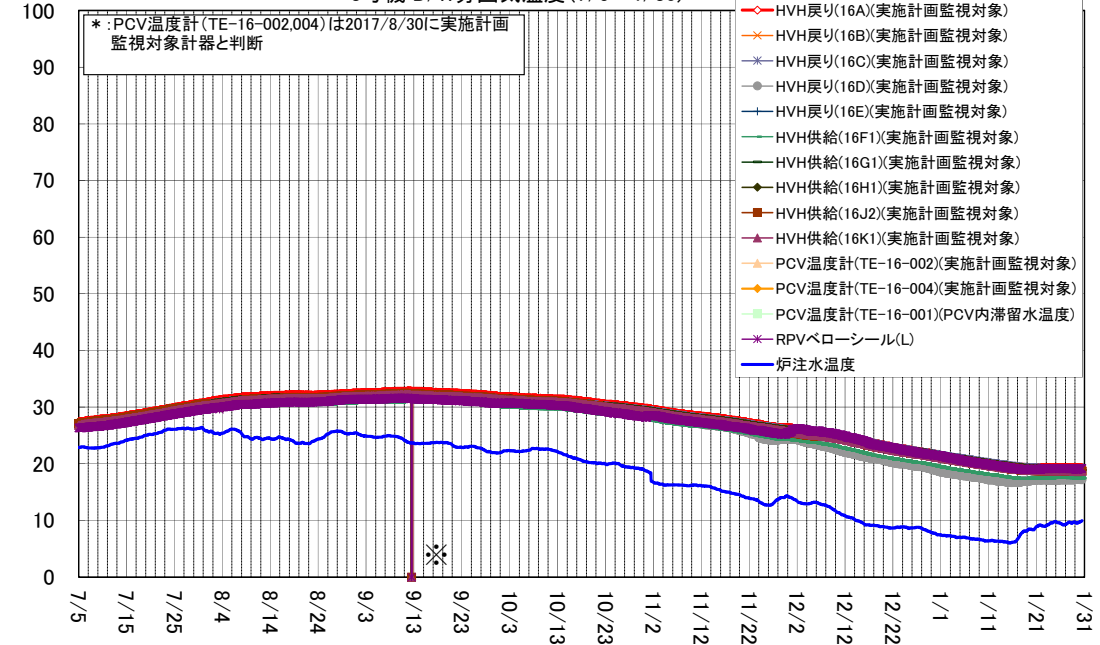
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(7/5~1/30)



3号機 D/W雰囲気温度(7/5~1/30)



※9/12 作業に伴いデータ欠測

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1~4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5, 6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエアータンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約2,330m ³	※7
2号機	約7,780m ³	T.P.-207
3号機	約8,870m ³	T.P.-207
4号機	約8,360m ³	T.P.-266
合計	約27,340m ³	

(合計):-490[m³/4週] (合計):-1060[m³/週]

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約6,870m ³	T.P.216
高温焼却炉建屋	約3,430m ³	T.P.586
合計	約10,300m ³	

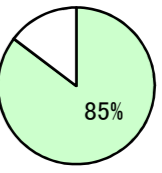
(合計):+290[m³/4週] (合計):+330[m³/週]

施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	548m ³	1,200m ³
SPT(B)	2,419m ³	3,100m ³

(合計):+1116[m³/4週] (合計):+300[m³/週]

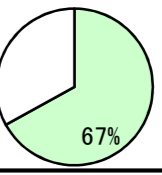
④廃棄物発生量

廃スラッジ



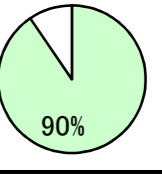
保管量:597/700[m³]*3

使用済ベッセル



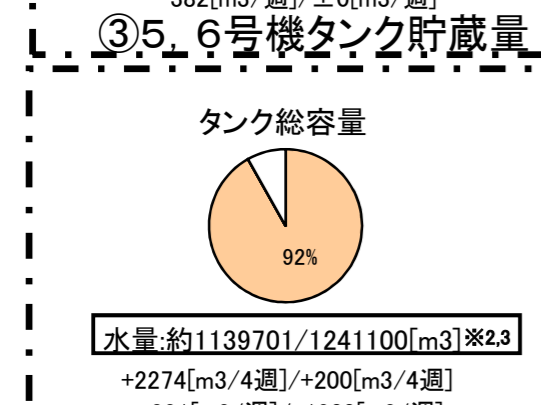
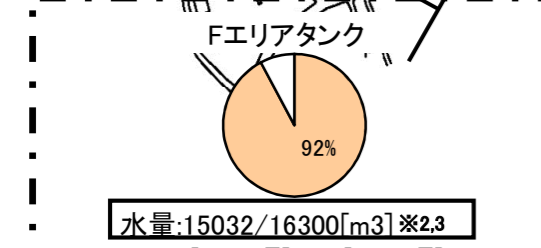
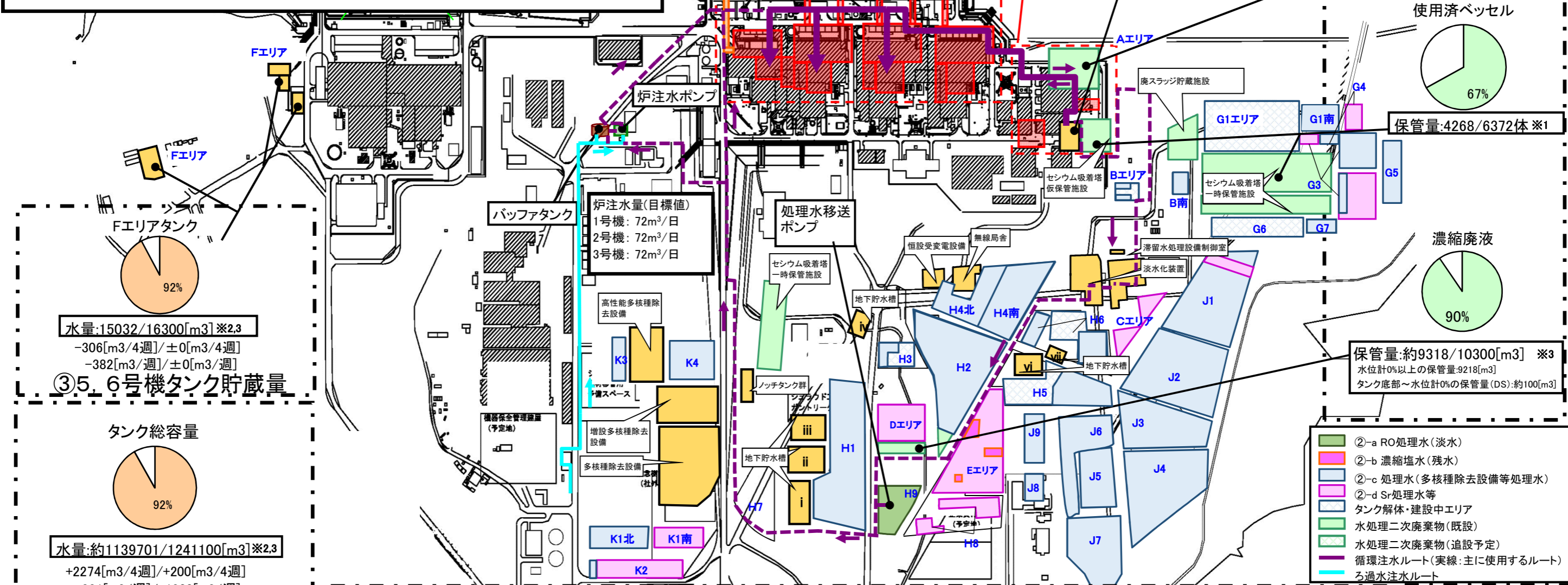
保管量:4268/6372体*1

濃縮廃液

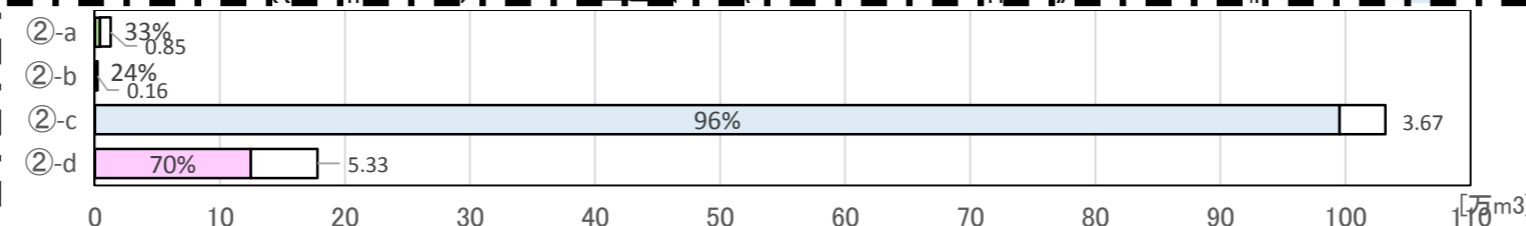


保管量:約9318/10300[m³] *3
水位計0%以上の保管量:9218[m³]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

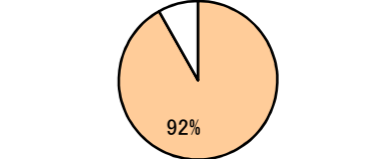
- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- ②-d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



タンク貯蔵量合計(②+③)



1~4号機タンク総容量



建屋内貯蔵量 + 1~4号機タンク貯蔵量(①+②)

水量:約1124669/1224800[m³]*3,4
水位計0%以上の水量:1121169[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3500[m³]

水量:約4117/12600[m³] *2,3
水位計0%以上の水量:3217[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約900[m³]

水量:約500/2100[m³] *2,3
水位計0%以上の水量:約400[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約100[m³]

水量:約995360/1032100[m³] *2,3,4,6
水位計0%以上の水量:993460[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1900[m³]

水量:約124692/178000[m³] *2,3
水位計0%以上の水量:124092[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約600[m³] *8

水量:約1124669/1224800[m³] *3,4
水位計0%以上の水量:1121169[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3500[m³]

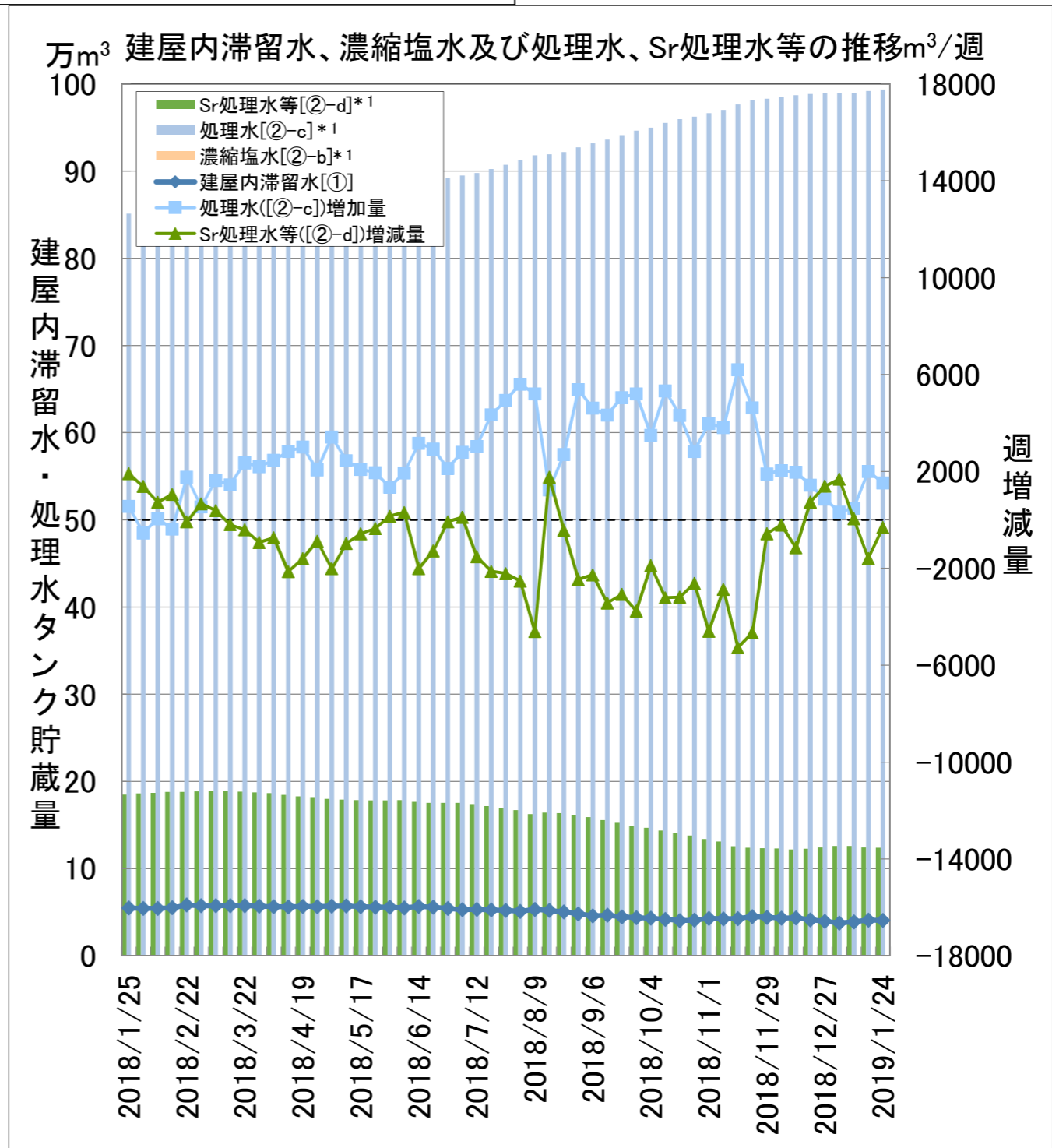
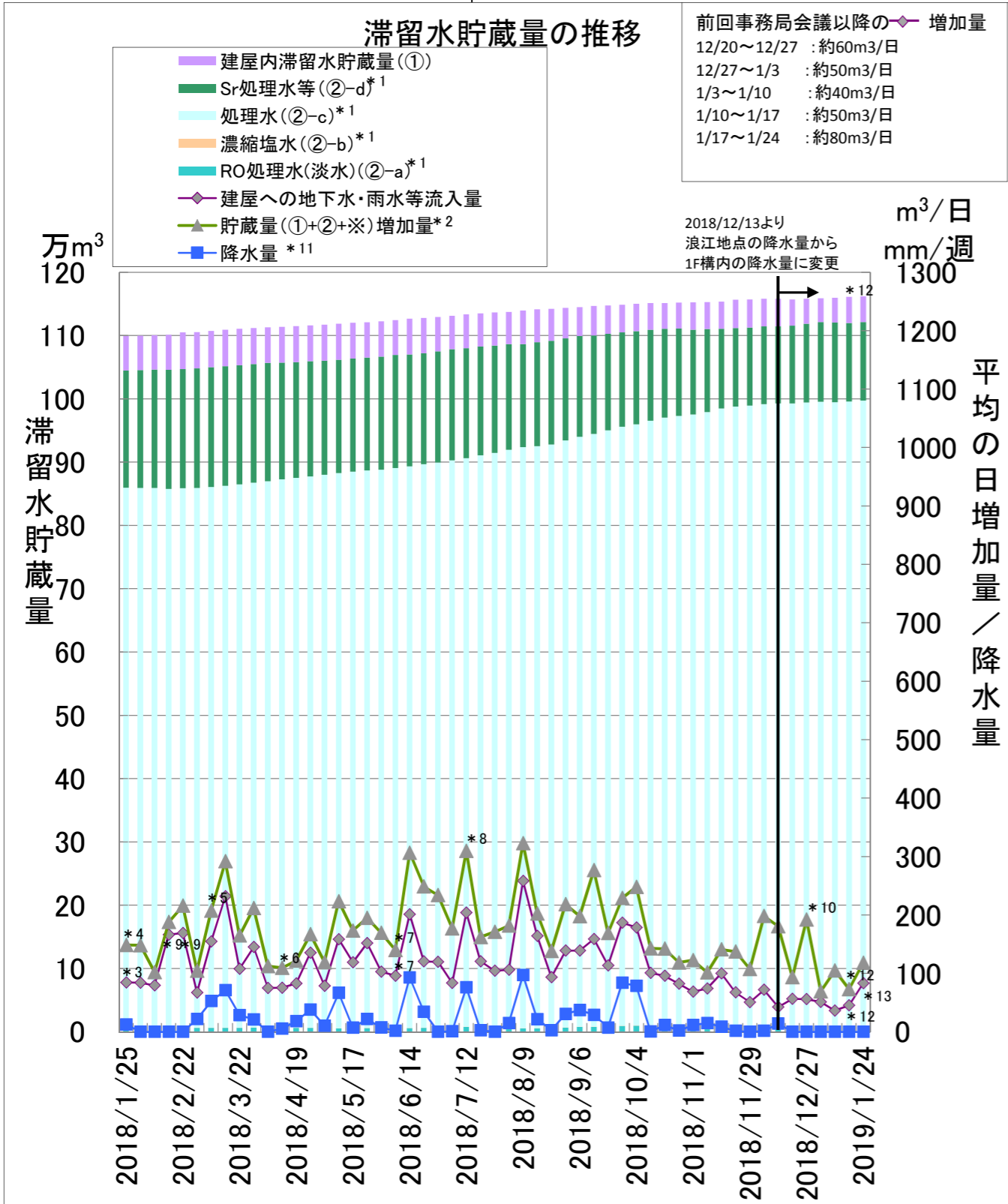
-1607[m³/4週]/±0[m³/4週] ±0[m³/4週]/±0[m³/4週] +4351[m³/4週]/+6100[m³/4週] -164[m³/4週]/-5900[m³/4週]
-7[m³/週]/±0[m³/週] ±0[m³/週]/±0[m³/週] +1532[m³/週]/+1000[m³/週] -312[m³/週]/+200[m³/週]

②-a RO処理水(淡水) ②-b濃縮塩水(残水) ②-c 処理水 ②-d Sr処理水等
(多核種除去設備等処理済水)

②1~4号機タンク貯蔵量

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約50m³/週)、共用プールから高温焼却炉建屋への移送量(約30m³/週)、その他移送量(約130m³/週)の合計約210m³/週を含む
 (端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 ※7 1号機T/Bはすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記する。
 ※8 フランジ型タンクに貯蔵するSr処理水の処理完了(2018/11/17)引き続き、残水処理を進める観点から、以後、フランジ型タンクのタンク底部~水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-c処理水〕+〔②-dSr処理水等〕

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

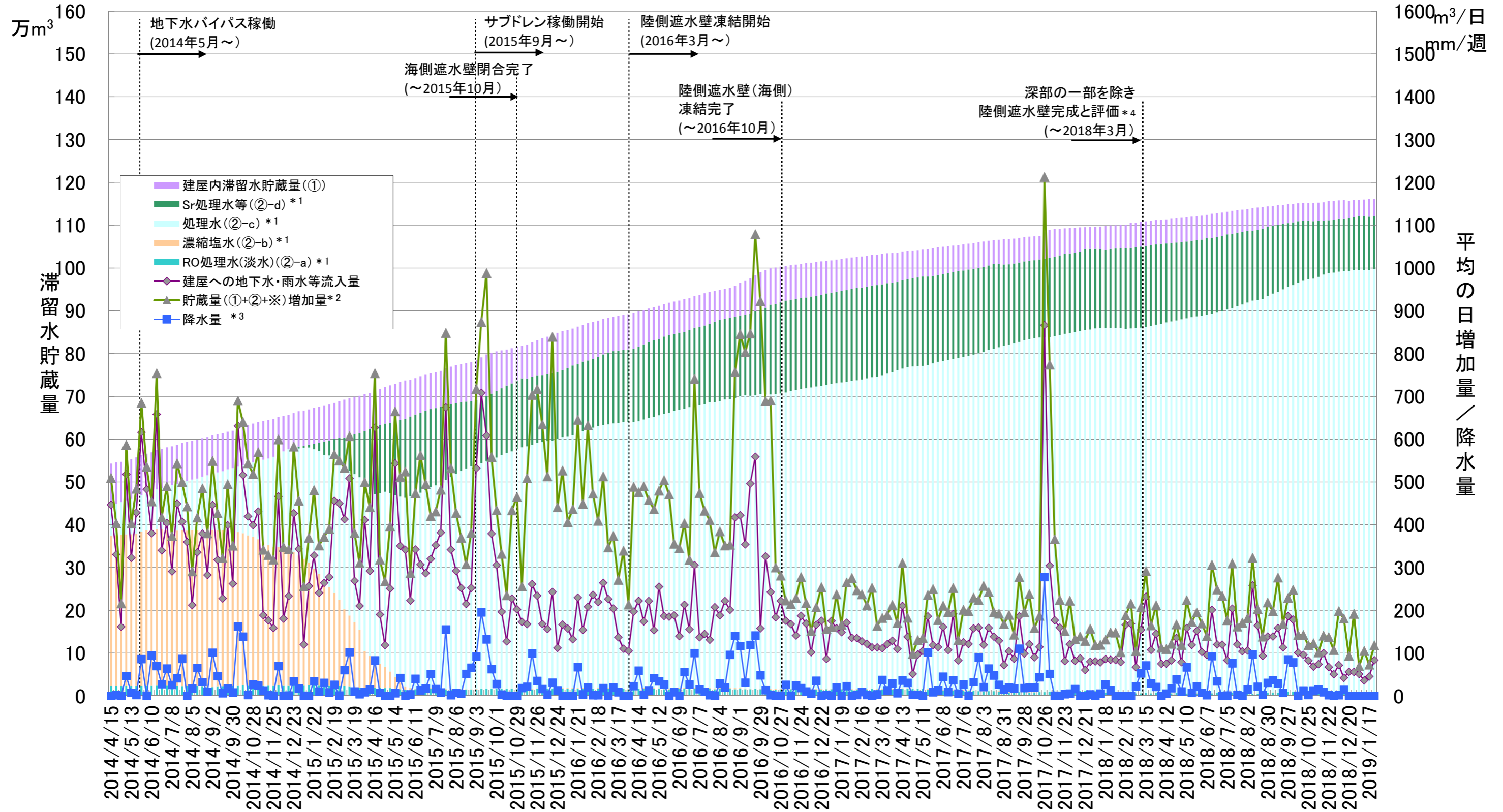
- *1: 水位計0%以上の水量
- *2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
〔(建屋への地下水・雨水等流入量)+(其他移送量)+(ALPS薬液注入量)〕
- *3: 残水エリアへ流入した地下水・雨水等流入量を加味して再評価(2018/1/18、1/25)。
- *4: SARRY逆洗水を「貯蔵量増加量」に加味していたことから見直し。(2018/1/25)
- *5: 右記評価期間は、建屋水位計の校正の影響を含む。(2018/3/1~3/8:3号機タービン建屋)
- *6: ALPS薬液注入量の算出方法を以下の通り見直し。(増設ALPS:2018/4/12より見直し実施)
〔(出口積算流量)-(入口積算流量)-(炭酸ソーダ注入量)〕
- *7: 2~4号機タービン建屋海水系配管等トレンチの滞留水貯蔵量の計算式見直しを踏まえ、再評価を実施。(再評価期間:2017/12/28~2018/6/7)
- *8: 1号機海水配管トレンチからの移送量の管理方法見直しを踏まえ、再評価を実施。(再評価期間:2018/5/31~2018/6/28)
- *9: K排水路補修作業の影響で、建屋への流入量が増加。
- *10: 廃炉作業に伴う建屋への移送により貯蔵量が増加。
(移送量の主な内訳は①ALPS薬液注入量:約14m³/日、②ウェル、地下水ドレンからの移送:約11m³/日、③サイト/バンカからプロセス主建屋への移送:約85m³/日他)
- *11: 2018/12/13より浪江地点の降水量から1F構内の降水量に変更。
- *12: 2019/1/17より3号機C/B滞留水を建屋内滞留水貯蔵量に加えて管理。建屋への地下水・雨水等流入量、貯蔵量増加量については2019/1/24より反映。
- *13: 2019/1/17の建屋内滞留水の水位低下の影響で、建屋への地下水・雨水等流入量が増加したものと推定。

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	399,505	524	75	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	524,700	1,008	144	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	
セシウム吸着装置	961	137	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値

注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

(〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-c処理水〕+〔②-dSr処理水等〕)

※: タンク底部から水位計0%までの水量 (DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]

*3: 2018/12/6まで浪江地点の降水量を使用していたが、2018/12/13より1F構内の降水量に変更

*4: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

福島第一原子力発電所と浪江における降雨量の関係について

2019/01/31

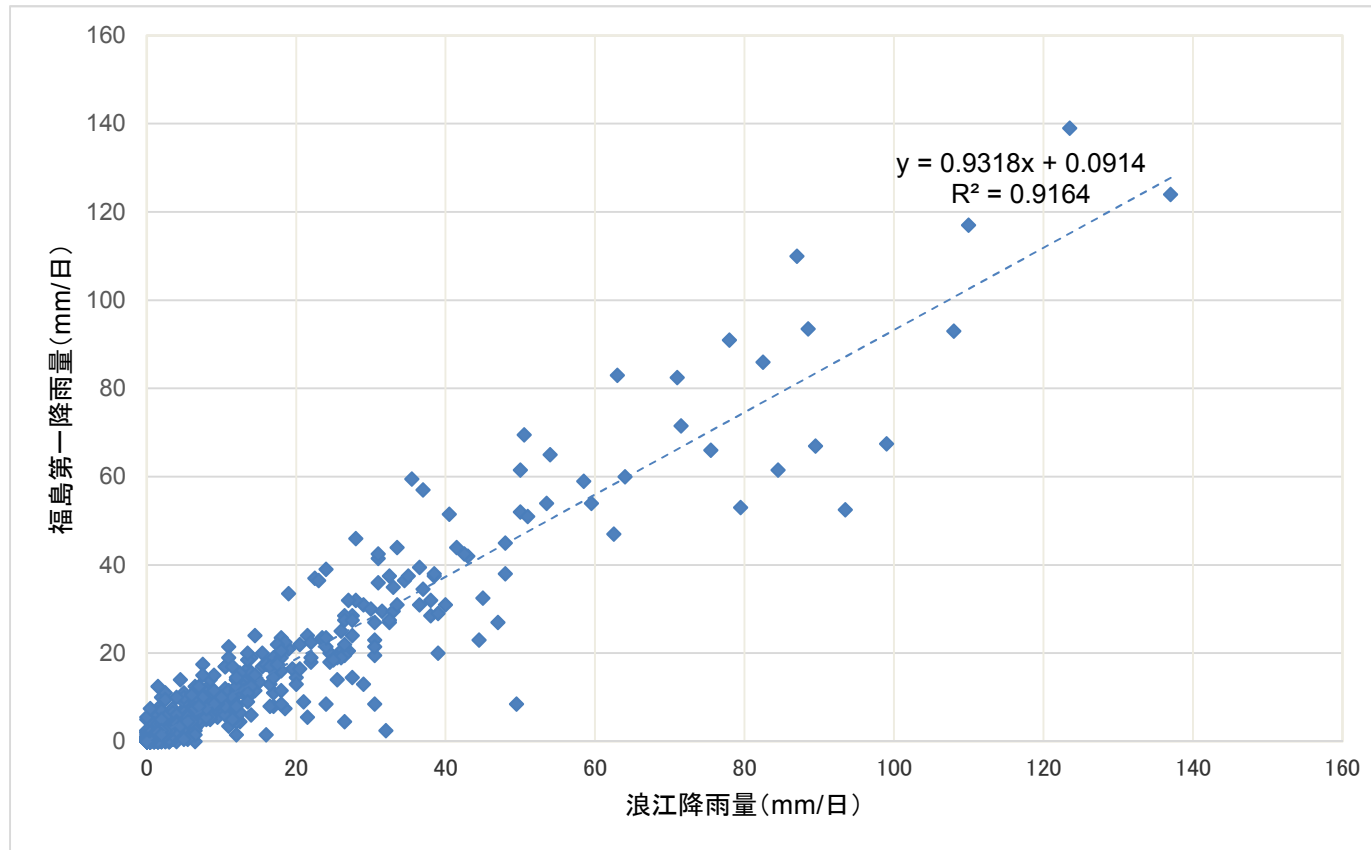
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

岡本教授コメント（2018年12月27日 第61回廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議）

- 滞留水の貯蔵状況の推移において、降水量の観測地点が浪江から1F構内へ変わっているが、浪江と1F構内の降水量の相関関係を示し、観測地点が変わっても問題ないことを示すこと。

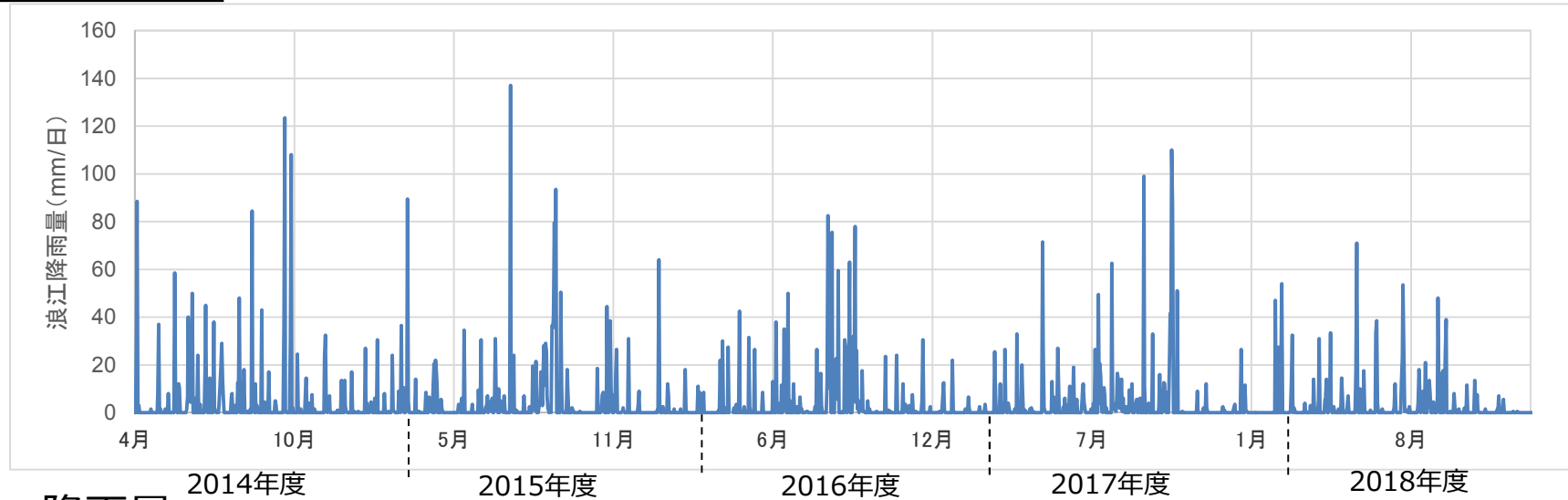
- 1F構内と浪江町における降雨量について、相関関係を改めて確認した結果、相関が維持されていることを再確認した。
(評価期間：2014/4/1～2019/1/25)
- 上記の通り、浪江から1F構内へ変更することは問題がないと考えることから、当初提案通り、1F構内の降雨量を用いることとする。



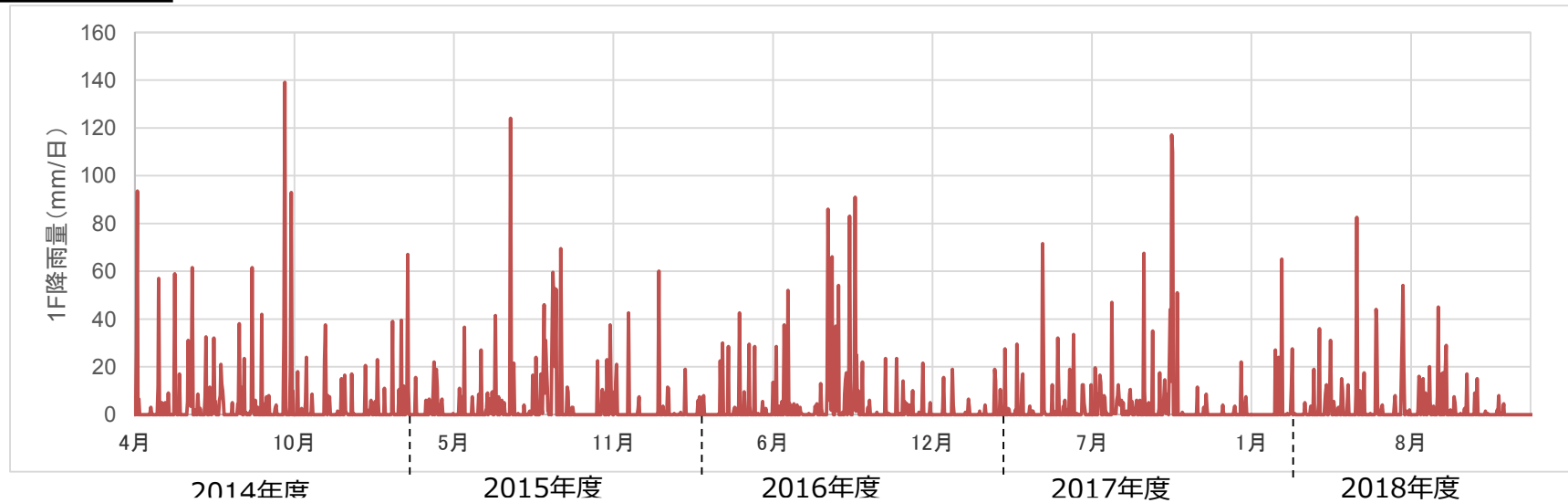
【参考】 浪江と1Fの降雨量の推移



浪江 降雨量



1F 降雨量



各エリア別タンク一覧

(2019年1月24日 現在)

1~4号機用貯蔵タンク

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
C	C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	残水処理中
	C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	残水処理中
D	D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
E	E	28	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A, C)	残水処理中 6基アウトオブサービス
		2	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G3	G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
		32	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C, R)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)		
G4	G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	G5	16	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G7	G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G1南	G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4北	H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(I)	H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	H6(II)	2	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	H5	18	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H3	H3	7	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
B	B	5	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H8	H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
H9西	H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
J1	J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
		8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
J2	J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J4	J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
		5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	K2	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
		26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種除去設備	高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除去設備	増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	合計	947				

Sr処理水等内訳 C: セシウム吸着装置等、M: モバイル型ストロンチウム除去装置等
R: RO濃縮水処理設備、A: 多核種除去設備等

濃縮廃液

D	D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

エリア		基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
		5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
		2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
		18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
		5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	合計	49				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.1.31時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点) 約9,300 (2019.1時点)	Cs134: 1.1E1 3.8E+00 Cs137: 7.0E1 4.2E+01 Co60: - 二 (2017.5.24) (2019.1.16)	5・6号建屋滞留水・RO処 理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処 理設備として運用中のた め、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 Co60: - (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO処 理水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、 第三施設)	・吸着塔一時保管施設 (第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内 の水は拭き取り実施 済み、HIC内上澄み水 水抜き実施済み (2018.9))	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中で あったが2015年11月に調査完了)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物 (SARRY、KURION、ALPS処理カラ ム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設 (第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3~1.6E7 Sr90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	約1(一部1cm残水あ り) 0	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済み 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	タンクエリア (Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を 貯留
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	タンクエリア	- (2017.8時点)	-	撤去済

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.1.31時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	<ul style="list-style-type: none"> 5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット 6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット 5号機逆洗弁ピット 6号機逆洗弁ピット 	5, 6号タービン建屋海側 5, 6号機スクリーン近傍	(5号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約550 (6号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約850 (5号機逆洗弁ピット) 約1,500 (6号機逆洗弁ピット) 約1,500	【5号機循環水ポンプ吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0 【6号機循環水ポンプ吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0 【5号機逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1 【6号機逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1	
10	1～4号機T/B屋根	<ul style="list-style-type: none"> 1号機T/B 2号機T/B 	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 1.2E2 1.4E1 Cs137: 9.7E2 2.5E2 全β: 1.1E3 2.9E2 (2017.6.19) (2018.4.25) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 7.9E1 4.4E0 Cs137: 5.4E2 4.8E1 全β: 5.0E2 5.9E1 (2017.6.19) (2018.4.25)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2260 (2015.6.17現在) 約1990 (2019.1.28)	Cs134: 1.7E+4 1.6E+02 Cs137: 5.7E+4 1.7E+03 (2015.3.23) (2018.12.14) 全β: 4.2E+6 1.5E+03 (2015.3.23) (2018.12.19)	過去、T/B地下の潜留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炬注ポンプ水源として使用するための準備中)
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2120 (2015.6.17現在) 約2030 (2019.1.28)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2018.11.12) (2018.12.18) H3: 1.6E6 1.5E6 Sr90: ND ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炬注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク(溶接タンク)	4号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2000 約1700	H3: 1.2E5 (2011.1.4)	プラント保有水を貯留
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.1E6 1.3E6 (2017.9.13) (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 8.4E4 1.4E5 (2018.12.19) (2019.1.23) H3: 3.5E2 4.3E2 (2018.12.5) (2019.1.2)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 2.7E6 3.1E6 (2018.1.26) (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 7.9E3 1.2E4 (2018.12.19) (2019.1.23) H3: ND ND (2018.12.5) (2019.1.2)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.9E6 3.2E6 (2017.9.13) (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 2.2E4 4.3E4 (2018.12.20) (2019.1.24) H3: 3.7E2 2.9E2 (2018.12.6) (2019.1.3)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 7.9E4 2.8E4 (2017.9.12) (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.1.31時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 9.0E6 7.8E9 (2017.9.12) (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: ND (2018.11.22) H3: ND (2018.11.1)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.7E2 1.5E2 (2017.9.12) (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~510 (2017.10~2018.2)	Cs134: 6.1E0~6.7E1 Cs137: 7.1E1~5.7E2 全β: 8.0E1~8.2E2 H3: ND~3.3E2 (2017.10~2018.2) 【1号機コントロールケーブルダクト】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 1.3E2 全β: 1.5E2 H3: ND (2018.12.6) 【集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト】 Cs134: 2.3E1 Cs137: 2.3E2 全β: 2.5E2 H3: 1.3E3 (2018.12.22) 【1号機薬品タンク連絡ダクト】 Cs134: 6.1E1 Cs137: 7.3E2 全β: 6.3E2 H3: ND (2018.12.18) 【4号機放射性液体用配管ダクト】 Cs134: 4.8E1 Cs137: 5.0E2 全β: 6.4E2 H3: 4.1E4 (2019.1.10)	
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2017.10)	Cs134: 9.5E0 Cs137: 9.6E1 全β: 1.4E2 H3: ND (2018.12.12)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000 約400 (2018.12.19時点)	Cs134: 3.6E0 2.9E0 Cs137: 3.6E1 4.5E1 全β: 6.0E1 5.6E1 (2018.7.27) (2018.12.18)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—	充填済 (建屋接続部近傍を除く)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	【立坑D】 Cs134: 5.6E5 Cs137: 1.9E6 全β: 4.2E6 H3: 1.5E5 (2015.2.27)	充填済 (立坑D上部を除く)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約860 (2017.10)	Cs134: 4.8E1 Cs137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H3: ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—	充填済

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.1.31時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1)	Cs134: ND~2.2E2 Cs137: ND~9.2E2 全β: 5.1E1~1.4E3 H3: ND~3.1E2 (2015.10~2016.1) 【2号機変圧器防災用トレンチ】 Cs134: 1.7E1 Cs137: 1.6E2 全β: 7.2E2 H3: 1.7E3 (2018.12.7) 【1号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134: 1.5E1 Cs137: 1.7E2 全β: 1.9E2 H3: ND (2018.12.6)	
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134: 1.0E5 1.2E5 Cs137: 8.1E5 1.5E6 全β: 8.3E5 1.9E6 H-3: 2.7E3 3.9E4 (2017.6.22) (2018.12.04)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134: ND~3.9E1 Cs137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	
31-1	1~4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1~4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2016.7.11) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.7.11) (3号機逆洗弁ピット) 約700 (2016.7.11) (4号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.7.11)	(1号機逆洗弁ピット) (2016.5.18) (2018.12.17) Cs134: 4.4E3 1.4E3 Cs137: 2.5E4 1.7E4 全β: 2.9E4 2.0E4 H3: 2.6E2 1.6E2 (2号機逆洗弁ピット) (2016.5.18) (2018.12.21) Cs134: 1.4E2 3.9E1 Cs137: 8.0E2 5.0E2 全β: 9.3E2 5.8E2 H3: ND 1.6E2 (3号機逆洗弁ピット) (2016.5.18) (2018.12.12) Cs134: 2.4E3 6.5E2 Cs137: 1.2E4 7.5E3 全β: 1.5E4 8.8E3 H3: 5.3E2 1.0E3 (4号機逆洗弁ピット) (2016.5.18) (2018.12.12) Cs134: 2.3E2 6.7E1 Cs137: 1.2E3 8.2E2 全β: 1.3E3 1.0E3 H3: ND 1.2E2	
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1~4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —	水抜き済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2018.12.21) (2019.1.25) Cs134: 2.0E2 2.4E2 Cs137: 2.4E3 2.8E3 全β: 3.1E3 3.8E3 H3: 2.2E2 2.5E2	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2018.12.21) (2019.1.25) Cs134: 1.0E2 8.4E1 Cs137: 1.1E3 1.0E3 全β: 1.6E3 1.8E3 H3: 1.3E2 1.5E2	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134: 3.9E1 3.8E1 Cs137: 5.1E2 4.4E2 全β: 5.4E2 5.1E2 H3: 1.7E2 2.2E2 (2018.12.5) (2019.1.9)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134: 7.2 Cs137: 23 I-131: <4.3 Co-60: <4.2 全γ放射能: 3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000 約1100 (2019.1.29)	(2019.1.9) Cs134: ND Cs137: ND Co60: 5.8E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.1.31時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1250 約1700 (2019.1.29)	(2018.11.8) Cs134: ND Cs137: ND Co60: 2.5E1 (2019.1.16) ND ND 2.0E1	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134: ND～2.2E2 Cs137: ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間:2014.8～2014.11) Cs134: ND Cs134: ND～3.5 全β: ND～4.8 H-3: ND～140 (採水期間:2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND (2017.7.13) ND ND～5.5E1 (2019.1.27)	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr-90: ND H3: ND (2017.2.16)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	純水を貯留 (震災後、放射性物質を 検出)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134: ND ND Cs137: ND ND H3: ND ND 全β: ND ND (2017.5.22) (2018.12.18) 【6号機】 Cs134: 1.3E0 ND Cs137: 6.1E0 ND H3: 3.5E2 ND 全β: 1.5E1 ND (2017.5.23) (2018.12.20)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中Rw排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3 [※] 3/4号サンピット 約2 5/6号サンピット 約5 集中Rwサンピット 約20 約10 ※適宜溜まり水の移送を 実施	【1/2号サンピット】 (2018.9.12) (2018.12.14) 全β: 4.0E7 2.6E7 Cs134: 3.1E6 1.9E6 Cs137: 3.6E7 2.4E7 【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β: 1.3E3 Cs134: 2.4E2 Cs137: 1.1E3 【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β: 7.6E1 Cs134: 1.2E1 Cs137: 4.7E1 【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β: 7.6E2 Cs134: 1.5E2 Cs137: 6.6E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.1.31時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
48	5、6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5~6号)	物操場 北側	<タンク> 約500 (2019.1.10) <雨仕舞> 約200 (2019.1.10) <ポンプ室> 約80 (2019.1.10)	<タンク> Cs134: ND Cs137: 6.2E1 全β: 1.5E2 H-3: 2.9E3 Co60: 4.9E1 (2019.1.10) <雨仕舞> Cs134: ND Cs137: 3.3E1 全β: 3.4E1 H-3: 1.1E3 (2019.1.10) <ポンプ室> Cs134: ND Cs137: 1.8E1 全β: 1.5E1 H-3: 1.5E3 (2019.1.10)	新規追加